

家庭学級及び学校保健委員会講演会

先にお知らせしました標記講演会での保護者の方の感想をまとめました。学校保健だよりでもご紹介しましたが、重ねてご紹介します。

感想からも、思春期真っ只中の中学生とかかわる身近な大人として、みなさんと協力し、情報を共有しながら子どもとかかわっていくことが大切だと感じました。

【本日の講演会の感想】

- 普段何気なく使っていた言動が、子どもの心を傷つけてしまっていたかもしれないとハッとしました。
- 主人の趣味が多く、そのせいで中学生になって休みの日もあまり一緒に遊ぶという機会がなくなってその点が気になっていました。逆に、今の姿、楽しんでいる姿を見せていけばいいのだと安心しました。
- なかなか話す機会が減ってきた子どもに対して、つい自らの推測や決めつけを言ってしまうことを反省しました。
- 突き放すことを結構してしまっていたので反省です。
- 助言・指示・解釈をいつもしているので、嫌みを言われても、聞く側が平気で受け止めることを心がけようと思いました。
- “相手の感情を決めつけない” 普段の何気ない会話で行ってしまっていると反省した。
- 日頃悩んでいたこと「どうしたら伝わるのだろう？」のヒントになることがたくさん出てきて、ほっとしたり、このままでも良いんだと、自分自身のことも励ますことができました。
- うちの子は典型的な“ザ・中学生”なのだということ、私自身が理解できておらず、母のマインドコントロール、分かっているけどできていないため、訓練が必要だと感じました。
- 夫婦関係が子どもの発達に影響することも学ぶことができて良かったです。
- 自分の子育てを振り返りながら、当てはまって安心したり、当てはまらなくて不安になったりしました。でも、理論を知ると、自分を変えることができることは確信できました。お話を聞きに来て、ラッキーだと思いました。ありがとうございます。
- すべての話が心に残りました。自分が子どもに対してやっていた行動を振り返り、当てはまることがいっぱいあったので、気を付けたいと思いました。
- 子どもとのかかわり方をあらためて考えさせられるいい機会となりました。度々、感情的に対応することが多かったので、ブれないように対応しないとイケないなと思いました。

【これから取り組んでみようと思ったこと】

- 子どもから話をしてくれるのを待って、悩みを打ち明けてくれた時に、同じように「大変だったね」と寄り添う言葉をかけてあげたいと思いました。
- 「見守る・口出しを減らす」これに尽きます。思春期のころの葛藤に、もう少し目を向けたいと思います。
- できるだけ父のことを、子どもの前で頼ろうと思います（笑）そして褒めます。
- 子どもからの話（相談など）に対して、一旦受け入れてみようと思いました。
- 推測で、先に解決策を言うのではなく、話をしっかり聞くことを大事にしたいと思います。
- 子どもの感情に流れて感情的にならず、毎日楽しく仕事をしようと思いました。
- 需要する態度。
- とにかく子育ては大変だけど、諦めずに頑張ろうと思います。
- 会話を最後までじっくり聞く、先回りして返さないようにしようと思う。
- 声をかけるときの“言葉”をもっと気にしてみようと思います。
- プラスの言葉をかけていこうと思います。
- 自分も何かに取り組んで、その姿を子どもに見てもらえたらと思います。